

第二回 岡山スポーツシンポジウム

トレイルランニング大会と環境



<http://www.corredor.jp/osforum/>

主催：岡山スポーツフォーラム（NPO準備中）

近年、ランナーの中で爆発的な人気を博しているトレイルランニングレース。
その大会開催についての環境面や安全面での課題について考えます。

と き：2014年1月4日（土曜日）13:00～16:00～（開場 12:30、終了後懇親会あり）
ところ：岡山県国際交流センター（岡山駅西口より徒歩3分）

<パネリスト>

キーノートレクチャー：忠政恵（森のスペシャリスト、元林野庁森林官(国有林の管理官)）

1：忠政啓文（NPO 法人全国トレイルランニングガイド普及協会理事長、健康運動指導士ほか）

2：吉永耕一（富士山エコレンジャー、森林情報士(森林 GIS 部門)、森林インストラクター）

3：貝畑和子（ウルトラランナー、大陸横断ランナー、トレイルランナー）

4：岡本清次（元介護福祉士、居酒屋店主、大会運営協力者・ランナー）

5：山崎 裕晶（山岳プロガイド、日本体育協会公認山岳スポーツ上級指導員ほか）

コーディネーター：山西哲郎（立正大学教授）

（内容および参加者は予定で、変更する可能性があります。）

現在、日本各地で相当数のトレイルランの大会が開催されていますが、公的機関の認める大会もあれば、そうでない大会もあります。クラブ練習会から世界規模の大会まで、距離も参加者も規模もさまざまです。

そんな中、一度に多くのランナーが登山道やハイキング道などを走ることで、各地で環境に対する影響を懸念する声が上がっています。また、宗教上の保存道を大人気で走りぬけることに対する批判も聞かれます。愛好者の増加で、いままでは無縁だったランナーも多く、運営上の安全面でも課題が考えられます。

では、環境に配慮した大会とはどういうものなのか？

そもそも、山や登山道など日本の自然環境の現状はどうなのか？

理想的な、持続可能な大会のあり方はどうなのか？

これらについて各方面からの意見を聞き、考えて行きたいと思います。

申込み・問い合わせ



run@corredor.jp

◆申し込み先◆

主催：岡山スポーツフォーラム（代表、村松達也 <http://www.corredor.jp>）090-3749-9430

700-0021 岡山県岡山市北区国体町 4-30-805 fax：086-253-3859

第二回 岡山スポーツシンポジウム ◆パネリスト◆紹介



忠政 恵 (ただまさ めぐみ) 愛媛県久万高原町在住

元林野庁の森林官で、国有林管理をしていた森のスペシャリスト。

植物や虫などのマニアックな知識をもち、一緒に山を歩けば、町では得られない様々な経験をさせてくれる。

元スキーインストラクターという意外な特技も持っている。



忠政 啓文 (ただまさ ひろふみ) 愛媛県久万高原町在住

- ・NPO 法人全国トレイルランニングガイド普及協会理事長
- ・NPO 法人ウォーキング普及協会オウルプロ理事、健康運動指導士
- ・愛媛県歴史の道総合計画策定委員会オブザーバー
- ・元愛媛大学非常勤講師、元松山大学陸上競技部コーチ
- ・フリーライター、テレビ・ラジオパーソナリティ

<競技歴>

2001 年全日本 50km 競歩優勝

2003 年ダブリン国際競歩グランプリ 50km 第 4 位



吉永 耕一 (よしなが こういち) 神奈川県横浜市在住

富士山エコレンジャー。森林情報士(森林 GIS 部門)。森林インストラクター。富士山エコレンジャーは、「富士山憲章」(静岡県・山梨県)の「富士山の豊かな自然環境、美しい景観を守り、育み、その恵みを後世に引継いでいく」ことに賛同し行動規範として活動。「富士山の自然環境」が保全されることを願うボランティア。(横浜市在住)



貝畑 和子 (かいはた かずこ) 倉敷市在住

UTMF, UTMB, Tor des Geants などのウルトラトレイルランに参加完走。

日本縦断 3500Km、サハラ砂漠 243Km、

北米大陸横断 5000Km、ロシア～シベリア横断 1 万 Km、

ヨーロッパ縦断など世界中を走るウルトラママ。



山崎裕晶（やまさき ひろあき）岡山市在住
山岳プロガイド、ガッシャブルム 1 峰(8068m)西陵初登
ハンギンググレーシャーピークス(6563m)初登等の遠征参加後、
ニュージーランド・ワナカで登山ガイド。
2014 年はネパール学校支援(4 年目)と Peak41(6645m)西壁試登。
日本体育協会公認山岳スポーツ上級指導員。
日本障害者スポーツ協会公認中級障害者スポーツ指導者。



岡本清次（おかもと せいじ）
以前は介護福祉士として福祉の現場で責任者として勤務し、現在は居酒屋という場で、様々なお客様と出会い、共に走り、語らい、共に歩む運営を行う店長。
・第 1 回 UTMF：大会前後のクリーンアップに参加、大会では清掃活動を行いながら完走
・第 2 回 UTMF：大会のクリーンアップに参加、粟倉ウォーターステーションの責任者を担当
・斑尾高原・伊勢の森・ハセツネなどの、様々な大会のボランティアに参加
・関西の草レース（六甲縦走キャノンボールランの私設エイド）を行い、様々な関わり方で大会経験し、学ばせて頂いています。



山西 哲郎（やまにし てつろう）
鳥取県出身、スポーツ運動学者。市民ランナーの指導者。
立正大学社会福祉学部教授
群馬大学名誉教授
日本体育学会会長、
日本オリエンテーリング協会会長、

岡山スポーツフォーラム 代表：村松達也（岡山県岡山市北区国体町 <http://www.corredor.jp>）

ランニング・ウォーキング・ハイキング・登山など通して、ゆたかな社会とコミュニティの育成に貢献することを目的とします。現在 N P O としての活動を準備中。旧マスカットランニングクラブ。

<これまでの活動>

24 時間チャリティマラソン「マスカットラン 24」主催（95 年～2001 年）

広島～長崎 International Peace Run（90 年～96 年）

備中高梁歴史街道マラニック（運営協力 2010 年～2014 年）

東日本震災チャリティラン&ウォーク（2011 年～継続中：月例）

第一回岡山スポーツシンポジウム「さまざまなランニング」（2013 年 1 月）